

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】築上町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
26	2008.5.29			福岡県	築上町	21,226	119.34
構想の要約		非食用の多収量米を原料としたエタノールの生産と生ごみ、し尿・汚泥、家畜尿のバイオガス化による電気及び熱利用の際に発生する液肥の利用を中心に農業の活性化や新しい環境産業の育成を行い、地域内循環型社会の構築を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		○ し尿・汚泥(椎田地区)の液肥化○ 家畜糞(牛、粕穀)の堆肥化○ 粕穀、稲わらの農地還元 ○ 廃食用油のBDF化○ 家庭系・事業系の生ゴミのバイオガス化・液肥化○ し尿・汚泥(築城地区)のバイオガス化・液肥化○ 家畜尿(牛)のバイオガス化・液肥化 ○ エタノール米栽培とバイオエタノール化○ 古紙の再生紙化と優先購入○ 木質、RDFの炭化					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材		その他()			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙	○				
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

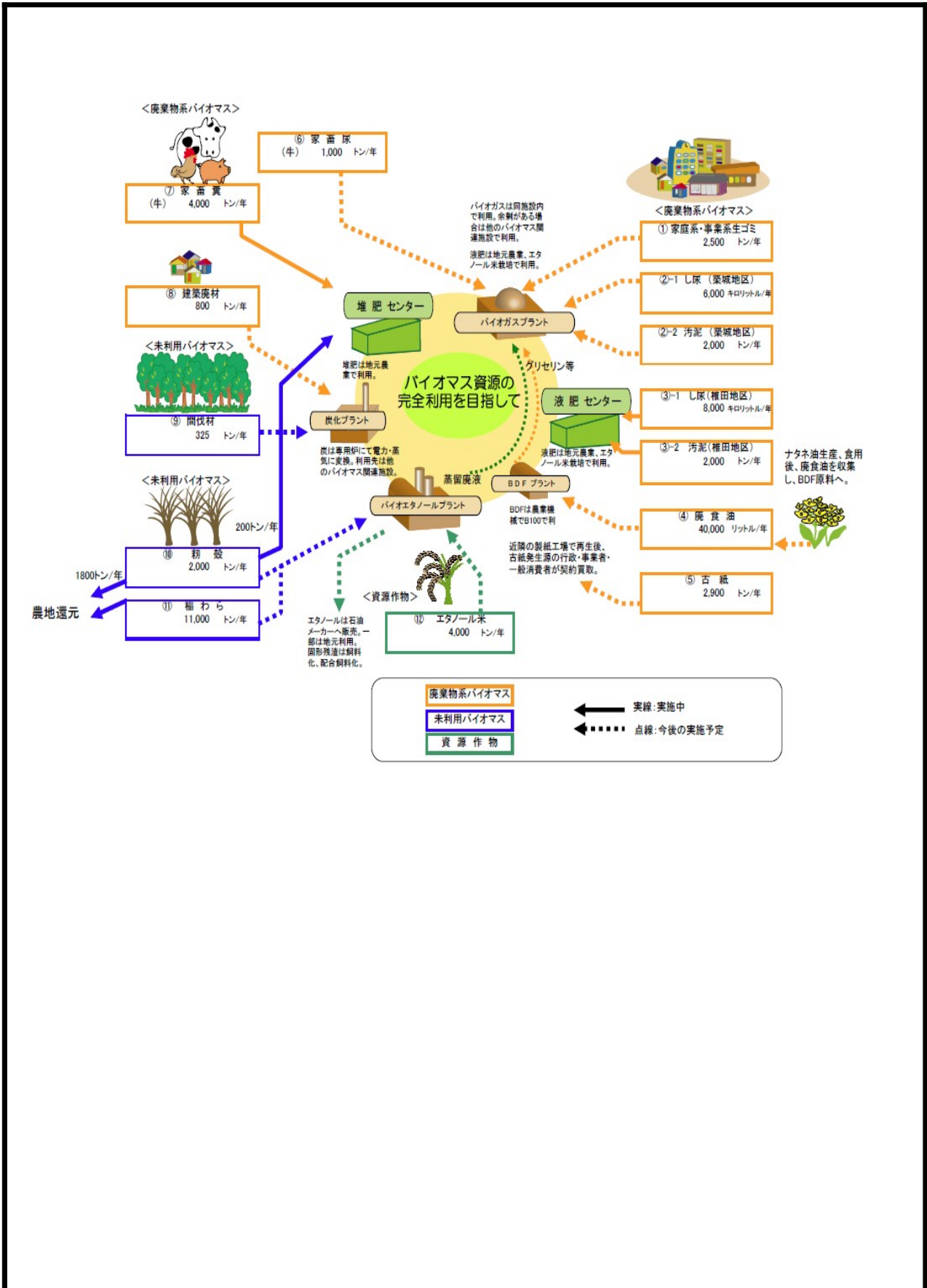
実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量	変換・処理方法	仕向量	利用・販売	利用率
(廃棄物系/バイオマス)					92%
家庭系・事業系 生ゴミ	2500t/年	ガス化、電化・熱変換 液肥化	2500t/年	施設内利用 農業利用	100%
廃食用油	40kL/年	B D F 化	40kL/年	液肥散布車等利用	100%
古紙	2900t/年	再生紙変換	2900t/年	販売	100%
し尿・汚泥 (椎田地域)	10000KL/年	好気性発酵による液肥化	10000KL/年	農業利用 (自家用、販売)	100%
し尿・汚泥 (築城地域)	8000KL	ガス化、電化・熱変換 液肥化	8000KL	施設内利用 農業利用	100%
家畜排せつ物	5000t/年	ガス化、電化・熱変換 液肥化	1000t/年	施設内利用 農業利用	100%
		堆肥化	4000t/年	農業利用	100%
建築廃材	1500t/年	炭化、電化・熱変換	800t/年	エタノール施設利用 農業利用	53%
(未利用/バイオマス)					42%
間伐材	650t/年	炭化、電化・熱変換	325t/年	エタノール施設利用 農業利用	50%
刳殻	2000t/年	堆肥化	200t/年	農業利用	10%
		エタノール化、飼料化	800t/年	販売、農業利用	40%
稲わら	11000t/年	エタノール化、飼料化	4400t/年	販売、農業利用	40%

バイオスタウン構想概要図

(バイオスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)